



質問を行った議員名と質問項目、及び原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。



地域公共交通網
形成計画では、持続可能な地域公共交通網を形作るために、拠点間をつなぐ交通と拠点内をめぐる交通を明らかにし、それぞれを路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシー、ライドシェアなど適切な方法で活性化及び再生を図ることを目的としている。



部長 太宰府市
地域公共交通網
形成計画の策定作業を現在進めており、当市の公共交通のあり方について、基本となる指針や目標を定めます。昨年度、太宰府市地域公共交通活性化協議会を設置し、3回の協議会を開催しました。本年度は公共交通事業者との個別協議を行い、協議会で審議を経て計画素案を策定します。



全質問項目

◇地域公共交通網形成計画について

今後の予定について伺う。
計画策定の進捗状況と、
そこで、本市における同
ドシエアなど適切な方法
で活性化及び再生を図ることを目的としている。
今後は、本市における同
計画策定の進捗状況と、
計画策定を目指していま
す。



理事

①松川庁舎の剥落部分の現状と対策について。
②市内公共施設のアスベス
ト調査、対策の進捗
について。

工事を計画しており、
関係課等と工事時期などの協議・調整をしているところです。

②平成17年度、全国的なアスベスト問題を受け、市でも公共施設のアスベスト使用実態、分析調査を行いました。調査結果に基づき、吹きつけアスベストを使用している施設については、既に除去工事あるいは封じ込め、囲い込みなどの対策を完了しています。



今現在のアスベスト使用状況は

神武綾議員

全質問項目

◇公共施設のアスベスト対策について
◇障がい者の雇用と就労について
◇子どもたちの健やかな成長について



太宰府市上下水道事業センター

Q 踏切道の改良促進による交通事故の防止と交通の円滑化を目的に、踏切改良促進法が制定されて50年余りが経過する。一定の成果は上がっているものの、改良が必要な踏切道の早期解決が緊急課題となっている。本市においても改良すべき踏切として3カ所が国の指定を受けているが、土居踏切・中道踏切は指定を受けていないとはいっても危険な踏切と考える。そこで、土居踏切・中道踏切の道路整備計画について伺う。

踏切道の改良促進による交通事故の防止と交通の円滑化を目的に、踏切改良促進法が制定されて50年余りが経過する。一定の成果は上がっているものの、改良が必要な踏切道の早期解決が緊急課題となっている。本市においても改良すべき踏切として3カ所が国の指定を受けているが、土居踏切・中道踏切は指定を受けていないとはいっても危険な踏切と考える。そこで、土居踏切・中道踏切の道路整備計画について

A 部長 改良すべき踏切道については、踏切道改良促進法施行規則第2条の指定基準に沿って、国土交通省の指定を受ける必要があります。現段階で既に法指定を受けている3カ所



朝の土居踏切の現状（吉松区）

全質問項目

- ◇吉松地区、踏切・道路整備計画について
- ◇市内小・中学校の施設整備について
- ◇中高年ひきこもりへの相談窓口について



問 吉松地区踏切道路整備の進捗状況は

徳永 洋介 議員

Q 7月21日に執行された参議院通常選挙において、複数の市民から選挙公報が届いていないとの声が寄せられた。立候補確定後に印刷されるためタイムラグが発生することは理解するが、国政選挙では必ず発行しなければならないものであり、配布漏れがあつてはならない。

①配布業者とどのように連携したか

②公報が届かなかつた世帯へはどのように対応したか

③期日前投票が定着した昨今、配布完了が投票日の前々日まででは遅すぎるため改善が必要と考える。3点伺う。

④選挙公報配布の早期化を図る必要性から選舉管理委員会の連合組織等を通じて国へ改善を

7月21日に執行された参議院通常選挙において、複数の市民から選挙公報が届いていないとの声が寄せられた。立候補確定後に印刷されるためタイムラグが発生することは理解するが、国政選挙では必ず発行しなければならないものであり、配布漏れがあつてはならない。

A 部長 ①県から市町村に送付された選挙公報を、市では配布業者に業務委託し各世帯に配布します。その際、予め作成した配布計画に基づき日々業者から報告を受け配布状況の把握を行います。今回の配布漏れは、業者からの報告自体に誤りがあったことが原因であり、業者に対し厳しく注意し再発防止を求めました。

②配布予定の説明や至急の配布などで対応しました。

③選挙公報配布の早期化を図る必要性から選舉管理委員会の連合組織等を通じて国へ改善を



問 エツ、選挙公報が届かない

藤井 雅之 議員



求めていきたいと考えます。

全質問項目

- ◇選挙公報について
- ◇財政政策について
- ◇カラス被害の実態について

質問を行った議員名と質問項目、及び原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。

Q

①歩道は人が歩く場所だが、市内の古い団地では歩道上に電柱が立つところが多く、大変危ない。太宰府病院から五条台へ上の三叉路からの道など、そのうえ曲がりくねつてもいる。電柱の移設や埋設ができるか伺う。

②全国的に交差点内での交通事故が多発している。左折時の事故が多く子どもの犠牲も多い。通学路交差点での注意喚起が必要である。通称青山通りの一つで、安全対策としてラバー・ポールの設置を検討できないか伺う。



A

部長 ①当該箇



県立太宰府病院前から
五条台方面への3叉路付近

問

事故が起きた時にはもう遅い

原田 久美子 議員

全質問項目

◇交通安全対策の道路整備について

②通学路については、地元自治会やPTA、また筑紫野警察署などの関係機関と協議しつつ、ソフト、ハードの両面から安全確保に努めています。ラバー・ポールの有効性の検討も含め今後協議をしていくべきと考えています。

Q

高齢ドライバーによる大きな事故が起きるたびに、様々な議論がおきるが、これといった解決策は見出されぬまま、新たな事故がつづいていく。便利で安全な公共交通を利用できる社会への移行が急務である。高齢者の運転免許返納を通して、全ての市民にやさしい便利で安全なまちづくりを目指したい。2点伺う。

①運転免許の自主返納を促すための本市独自の支援策は。

②自主返納する前提となる地域公共交通の現状と改善策は。



A

部長 ①死亡事

故も発生しております。支援策は免許を持たない市民との公平性の観点から熟慮しなければなりません。免許制度や近隣市の状況などをしながら支援が有効かどうか検討していきます。

②まほろば号は現在8路線運行しており、利用者の利便性向上に向けダイヤ改正作業を進めています。並行して昨年度より、交通体系の分析を踏まえての地域公共交通網形成計画の策定に着手しており、本市の実情に応じた公共交通について、総合

問

高齢者運転免許返納の
本市の支援策は

木村 彰人 議員

全質問項目

◇高齢者の運転免許返納について
◇第6次太宰府市総合計画について



的に検討していきます。

Q 国の自転車活用推進法ならびに自転車活用推進計画によれば、市も自転車活用推進計画を定めるよう努めることになる。そこで3点伺う。

①本市における自転車利用の現状分析。

②市も条例で自転車放置防止を定めている。駐輪場の利用者増に伴う生活環境への負荷の軽減策。

③立地適正化計画、地域活性化、観光施策の観点から自転車の活用推進について協議・検討をすすめているか。



A 部長 ①市内に5カ所の駐輪場を設けていますが、駐輪場スペースの不足や、自転車利用者のマナーが依然として改善されず、市街地中心部や鉄道駅周辺では、放置自転車による通行障害や景観の悪化が問題となっています。



西鉄都府楼前駅の現状

いても検討したいと考えています。

全質問項目

◇自転車の駐車対策と活用推進について

問 自転車活用計画の施策は

堺 剛 議員



小畠議員、宮原議員、船越議員、橋本議員、入江議員、笠利議員、門田議員の一般質問録画映像はこちらから

Q L G B Tなど性的少数者に対する取り組みが全国的な広がりをみせている。文科省から性的少数者の児童・生徒へのきめ細かな対応の実施に関する通知が教育現場に下りていることを踏まえ、2点伺う。

①性的少数者への理解を深めるために行う、広報、啓発の取り組みについて。

②思春期に性の自己認識をすることによる違和感や苦慮に配慮すると同時に、スラックスをはくことによる冬の寒さ対策や健康対策の観点から、中学校における制服の選択制導入について。

A 部長 ①人権尊重のまちづくり推進基本方針の中で、性的少数者の人権問題について新たに柱立てをしたところです。市民対象の講座の開催や、広報、ホームページでの啓発などを行い、多様な性のあり方にて正しい知識と共通理解を持てるようにしたないと考えています。

②中学校の制服について、校長会と教育委員会で機能性や防犯等さまざまな観点から選択制を目指すという統一見解に至りました。導入に向けて、どのように進めていくかを検討する段階に入っています。



問 L G B Tなど性的少数者に対する配慮と行動を求める

小畠 真由美 議員

福岡県が作成した
おもてなしレインボーガイドブック

全質問項目

◇多様性を尊重する人権政策について
◇読書通帳の配布について

L G B Tなど性的少数者に対する配慮と行動を求める

質問を行った議員名と質問項目、及び原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。

Q



歳出入一体改革

の観点から、財源確保、維持費削減のために、墓地を含む市所有遊休地の今後の活用計画や維持管理等について3点伺う。

- ①今後の活用計画、維持管理等の予定
- ②現在までの維持管理内容及び維持管理費
- ③市名義の墓地の利用の現状と今後の計画

部長 ③日常管理は使用者である地元の関係者で行い、隣地に接する法面等に雑草が繁茂している場合などは不定期に市で対応していくま

す。
樹木伐採等に93万4200円を支出していま

A

理事 ①普通財産の中で売却可能な土地をリストアップ

しているところです。その後、各課に利用希望の有無を照会し、売却可能と判断すれば処分する予定です。売却できない土地は必要に応じて草刈りや樹木剪定など管理を行います。



全質問項目

◇市所有遊休地について

いきいき情報センターの1階はどのように利用されています。

Q

Q



いきいき情報センターの1階部

分、マミーズ五条店撤退の話については、昨年11月に執行部から説明を受けた。それから10か月、月日は経過しているが何も進展がないのはいかがなものか。市民のニーズに応えるべく、喫緊の課題として方向性を市民に示さなければならぬと思うが、考えを伺う。

A

理事 複数事業

者からの問い合わせや相談を積極的に受けていますが、現時点では実現可能な提案をいただいている状況ではありません。7月から庁内横断的な利活用検討会議組織を立ち上げ、さまざま



いきいき情報センター 1階

全質問項目

◇市の公共施設のあり方について

問
いきいき情報センターの1階はどうするの

問
いきいき情報センターの1階はどうするの

Q 太宰府市文化振興条例は22年前の平成9年9月に制定された。文化スポーツ振興財団や文化協会など各種団体が太宰府市の文化芸術の振興に尽されている。今後さらに各種団体の連携が深まり、文化芸術活動が充実し、市民が喜ぶ取り組みが増えることを期待し3点伺う。

- ①「NHKのど自慢」の誘致について
- ②とびうめアリーナでの文化事業について
- ③文化事業の組織間連携について
- ④文化事業は文化学習課を主担当に、文化スポーツ振興財団や関係各課と連携を図り、市



問 のど自慢を太宰府に
橋本 健 議員

A 副市長 人間に多くの恵澤をもたらす文化芸術は活力ある社会形成に重要です。今後も市民が文化芸術に親しみ、楽しめるまちづくりを目指します。



民に喜んでいただける事業を催したいと考えます。

全質問項目

- ◇文化芸術の振興について
- ◇いきいき情報センターについて

- ①水道の普及率と普及促進計画
- ②石綿セメント管は残っているのか
- ③水道基幹管路の耐震化の現状
- ④導水管と送水管の耐震化の推進について

- ③厚生労働省公表では耐震化率59%ですが、この数値は市からの報告の誤りを基にしており



問 地震にも強い安全な水道の普及を
入江 寿 議員

Q 水道は市民生活、社会経済活動上重要なライフラインである。井戸水では周辺環境の変化や災害による水質劣化の懼れがあり、安全な上水道の普及と耐震管への更新は重要な課題である。そこで4点伺う。

A 部長 ①井戸水を利用する専用

水道を含めずに算出すると平成28年度末で太宰府市の水道普及率は83%で、全国平均や県平均を下回っています。

道路改良にあわせて水道水に切り替えるなど、経費を抑えつつ粘り強く普及に取り組みます。

④現在五条口・櫻寺線ほかの拠点等までの基幹管路整備を順次計画しています。



全質問項目

- ◇水道普及率と水道管基幹管路の耐震化について
- ◇高齢ドライバーによる事故防止対策について

質問を行った議員名と質問項目、及び原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。

Q

市内各中学校PTAの活動を教育委員会が後押しする形で市全体で制服リレー活動（リユース）が始まっている。進学時には出費がかさむこともあり、好評と聞くが、名前の刺しゅうや、制服のリボンなどが学年ごとに色分けがされていることは明らかに障害となっている。

学年ごとの色分けは、教育上本当に必要なものなのか、名前は刺しゅうされる必要があるのか、スマーズにリレーがつながるよう、教育委員会の見解を伺う。

市内各中学校PTAの活動を教育委員会が後押しする形で市全体で制服リレー活動（リユース）が始まっている。進学時には出費がかさむこともあり、好評と聞くが、名前の刺しゅうや、制服のリボンなどが学年ごとに色分けがされていることは明らかに障害となっている。

現在、様々な観点から、制服デザインのあり方に協議を始めています。刺しゅうや色分けなどについても協議の中で検討してまいります。



A

部長 本市の4中学校では学年による色分けや、名前の刺しゅうがされています。



全質問項目

- ◇中学校制服の学年別色分けについて
- ◇太宰府歴史スポーツ公園の利用について
- ◇中学校給食調査・研究委員会について
- ◇いきいき情報センター1階のこれからについて

Q

Q

国分、坂本地區の住民の生活は県道と交わる2つの交差点には成り立たない。しかし、両交差点とも渋滞と危険走行が常態化している。国分寺前交差点について、車の流れを変えたり、通行量を減らしたり、あるいは歩道橋設置などは可能なのか。坂本2丁目交差点付近の隘路の解消、道路の改善はできないのか、今後の対策を伺う。

現在、様々な観点から、制服デザインのあり方に協議を始めています。刺しゅうや色分けなどについても協議の中で検討してまいります。

国分、坂本地區の住民の生活は県道と交わる2つの交差点には成り立たない。しかし、両交差点とも渋滞と危険走行が常態化している。国分寺前交差点について、車の流れを変えたり、通行量を減らしたり、あるいは歩道橋設置などは可能なのか。坂本2丁目交差点付近の隘路の解消、道路の改善はできないのか、今後の対策を伺う。



A

国分、坂本地區の住民の生活は県道と交わる2つの交差点には成り立たない。しかし、両交差点とも渋滞と危険走行が常態化している。国分寺前交差点について、車の流れを変えたり、通行量を減らしたり、あるいは歩道橋設置などは可能なのか。坂本2丁目交差点付近の隘路の解消、道路の改善はできないのか、今後の対策を伺う。



国分寺前交差点

A

Q

国分、坂本地區の住民の生活は県道と交わる2つの交差点には成り立たない。しかし、両交差点とも渋滞と危険走行が常態化している。国分寺前交差点について、車の流れを変えたり、通行量を減らしたり、あるいは歩道橋設置などは可能なのか。坂本2丁目交差点付近の隘路の解消、道路の改善はできないのか、今後の対策を伺う。

現在、様々な観点から、制服デザインのあり方に協議を始めています。刺しゅうや色分けなどについても協議の中で検討してまいります。

国分、坂本地區の住民の生活は県道と交わる2つの交差点には成り立たない。しかし、両交差点とも渋滞と危険走行が常態化している。国分寺前交差点について、車の流れを変えたり、通行量を減らしたり、あるいは歩道橋設置などは可能なのか。坂本2丁目交差点付近の隘路の解消、道路の改善はできないのか、今後の対策を伺う。



門田直樹 議員

全質問項目

- ◇国分、坂本地區における車の渋滞対策について
- ◇太宰府歴史スポーツ公園の管理、運営について



坂本2丁目交差点